

第2部 意見交換会

シンポジウム終了後、水資源保全全国自治体連絡会会員で、意見交換会が行われました。

開会に先立ち、「熊本城おもてなし武将隊」演舞が行われました。加藤清正、飯田覚兵衛、あま姫の3人の武将達の威風堂々たる演舞が披露され、会場は盛り上がりました。



柳田会長は、挨拶の中で、シンポジウムで提唱した災害時相互応援に関する提唱に触れ、「災害時の混沌とした状況でも、こうした体制が整うことにより、被災した自治体が直面する災害発生直後の『水』不足を解消することにつながるものと確信」していると述べました。

大西熊本市長による乾杯の発声により、懇親が始まりました。

北海道から鹿児島県までの連絡会会員及び国の関係者等約50名が参加して行われた意見交換会は、大変盛況であり、会員同士の良い情報共有・交流の場となりました。



意見交換会の最後に、片山北海道ニセコ町長が、「この機会に深めた親睦をさらに団結し、連絡会一丸となってこの水資源を守っていかねばならない」と挨拶され、参加者全員で勝ちどきが上げられました。



【勝ちどきの様子】